

広報

やまこし

1979
3月
第129号

■発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■毎月1日発行

国保の保険証が変わります

4月からうぐいす色

国民健康保険の被保険者証が四月一日から、うぐいす色のものに変更されます。現在使用しているピンク色の保険証は今月限りで使用できません。

新しい保険証は今月下旬に区長を通じ、古い保険証と引替えに交

付します。日程等は後日回覧でお知らせしますが、(学)の保険証も更新できるよう準備してください。ただし、出稼ぎで特別に個人の保険証を交付されている方は除きます。(住民課)

祝電はお早目に

結婚、卒業、入学などで祝電のラッシュです。日どりのわかつているときは、お早目に。

お祝い電報は、配達日の十日前から打つことができます。配達日の三日以前にお打ちになると、百五十円割引になります。

電話の移転工事について

春先は電話の移転工事が多くなり、ご希望の日に取り付けできない

こともあります。移転の予定が決まりましたら、早目にお申込みください。

長岡電報電話局
☎(056)3110600
(無料)



お知らせ

住民税・所得税の申告は **3月15日**まで (税務課☎2332, 長岡税務署☎0258(35)2070)

木材引取税の申告に

ご協力ください

毎年三月から四月にかけて杉など立木の伐採の時期です。伐採した場合は、村に「木材引取税」を納めることになっていきます。この税は、素材を買った人がその山元での価格に応じて納めます。また、自家用に伐採した場合も、自分が素材の引取者とみなされ、同じように納めます。税率は素材価格の二パーセントです。たとえば立木を五十万円で購入したときは一万円の税金を納めていただくことになります。納める方法は、立木を売ったときは、売った人が買った人から徴収して村に納めてください。また自家用に伐採したときは、自らが

バイク・軽四輪・耕うん機

廃車等の手続きはお早めに

バイク・耕うん機・軽四輪を売ったり、スクラップにしたのに税金がきた。一台しか持っていないのに二百分かつてきた。毎年五月に軽自動車税の納税通知が配布されると、こんな問合せがよくきます。他人に売っても、スクラップにしても、正規の手続きをしないといつまでも税金はかかります。軽自動車税の賦課期日は四月一日です。三月三十一日までに手続きをすれば新年度の税金はかかりません。該当する人はお急ぎを。なお、四月以降に手続きをした場合は、軽四輪などは月割りで残りの分の税金が返ってきますが、二五cc以下のバイク、耕うん機などは年割りで返りません。▼手続きは……一・二五ccまでのバイク、耕うん機は役場税務課へ。変更申告書と廃車の場合ナンバーを添えてください。軽四輪、二五ccを超える二輪車などは陸運事務所所定の手続きをしてください。なお、ナンバーの滅失等により手続きできない人は、役場税務課へご相談ください。

種芋原小学校校舎競売のお知らせ

種芋原小学校校舎新築により、旧校舎を三月十五日(予定)に競売します。希望者は三月八日までに、役場総務課へ申し込んでください。



卒業おめでとう
この春中学を卒業する
男子34名、女子39名の生徒です。
進学、就職と行く道は
それぞれ違いますが、元
気で一生懸命がんばって
ください。

73名

4月8日(日)は 県会議員選挙の 投票日です

任期満了による県議会議員選挙が三月二十七日告示され、四月八日に投票が行われます。これから四年間、私たちの代表者として新潟県の政治を担当する人を選ぶ大切な選挙です。
選ぶ私たちの一票一票が、県政を良くするかどうかの別れ道。情実や因縁をなくし、自分の判断に基づいた悔のない一票を投じましょう。



投票は

朝七時から

投票時間は、午前七時から午後六時までです。棄権しないよう時間内に入場券を持っておいでください。
入場券は四月初めに区長を通じてお届けします。



村の
選挙管理委員会
役場二階
☎二二三三三

投票できる人

昭和三十四年四月九日までに生まれ、昨年の十二月十二日以前から引続いて山古志村の住民基本台帳に登録されている人。
▽昨年十二月十三日以降に県内

より転入した人は、山古志村長の証明書をもらって、前の住所地で投票してください。
▽昨年十二月八日以降に県内へ転出した人で、転出先の選挙人名簿に登録されていない場合は、転出先の市町村長の証明書をもらって、山古志村で投票することになります。

不在者投票

選挙の当日、仕事や旅行などでどうしても投票所へ行けない人は不在者投票ができます。
期間 三月二十七日(火)から四月七日(土)まで
時間 午前八時三十分から午後

五時まで

場所 山古志村役場

出稼ぎ等の人は……本人の請求により、投票用紙と不在者投票証明書を送りますので、現在地の市・区役所、町村役場で投票してください。投票はその選挙管理委員会が山古志村選挙管あてに郵送します。なお、不在者投票証明書は自分で開封すると無効になり投票できませんのでご注意ください。

また、郵送によりますので日数がかかります。不在者投票の請求は告示前でもできますのでお早めにしてください。
入院中の人は……県選管が指定した病院に入院している人は、病院で投票できますので、その旨を病院長に申出てください。投票用紙の請求は病院長が行ってくれます。投票は病院の指示にしたがってください。

円まで。

ただし、無免許や飲酒運転、故意、重大な過失による事故の場合、見舞金が支払われないこともあります。

▽加入申込み……区長を通じて申込書を配布します。必要事項を記入して、会費(掛金)を添えて区長または役場にお申込みください。

※ 交通事故にあつたらすぐ警察署に届け出てください。自損事故の場合も必ず届け出て証明書をもらってください。
その他詳しくは役場総務課(☎二三三二)へ。

立合演説会

4月1日午後1時
山古志中学校

立合演説会が4月1日午後1時から山古志中学校で行われる予定です。
候補者とその政見を知る最もよい機会です。お誘いあわせて多数お集まりください。

郵便による

在宅投票

すでに郵便投票証明書を受けている人は早めに証明書を添えて投票用紙を請求してください。
また身体障害者手帳を持ち、次に該当し郵便投票をしたい人は選

出稼ぎ先で激励と研修

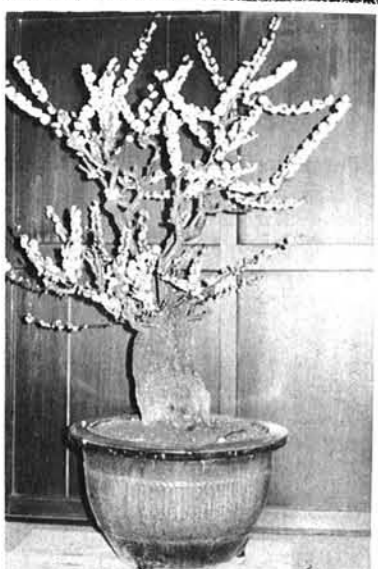
さる一月二十八日、東京流通センターにおいて出稼ぎ者を対象に検討集会および短期研修が行われました。

この集会は今年で七年目となり、都内やその近郊に就労されている出稼ぎ者が出席し、農業問題や就労問題、また村の最近のようすなどを話し合うとともに、出稼ぎ者相互の連けいを深めました。そして短期研修では、全日本総合錦鯉品評会を視察しました。



第十一回全日本総合 錦鯉品評会 村内入賞者

- 優勝 磯 新(虫亀) 光写り四部
- 優勝次席 五十嵐 進(虫亀) 写もの七部
- 準優勝 広井 利信(桂合) 写もの一部
- 山松養鯉場(虫亀) 衣 一部
- 藤井 保(梶金) 別甲 二部
- 磯 新(虫亀) 変もの三部
- 星野 武正(二丁野) 淺養秋水八部
- 酒井 省吾(虫亀) 光写り士部



紅梅 樹齢約二百年
高さ百二十寸



五十嵐照さん
(虫亀)

第2話

農協合併は

村の意識を高める

テレビの時代

部落の中に入って話をしてみたという気持——実をいいますと、少し遅すぎたという気がしてお

ます。昭和四十五年に来た時、皆さんと膝つき合せて話をしてお

けばよかったと思っております。それはなぜかという、テレビ

が普及して会合に人の集まりが悪くなり、ここへわざわざ来て話を

聞いているよりは、家でテレビを見ての方がいい、という人が多

くなってきたからです。それで、何をやるにも大変やりにくうなりま

した。我々が農家へ行って話を聞く

でも、昔は夜行くといひ話が聞けたもんですが、今は聞きたいとい

と、今夜は見ねばならぬテレビがあるからといって断られること

が多いんです。何もかもテレビ中

心の時代になっちゃいました。

そういうことで、皆さんが何かをやろうとして計画いたしましたも、協力一致して

「やろうよ」という声が起こることが少なく

なっております。これが、昭和二十五年前後に地

方を歩きました、皆さんと話をしてますと、必ずといっていいくらい

実現する方向に進んだものなのです。話を聞いて、眼の色が変わ

ったものなんです。当節では、話をしましても、その時だけ話を聞き

お、おしまいなっている。このテレビのことは、非常に大

きな問題で、日本だけでなく世界的に問題になってきている。何が

問題かという、テレビを見るために次第に物を深く考える習慣

がなくなってきた」ということなのです。そして、今や日本はテレ

ビは一家に一台以上という、普及率世界一の国になりました。

つまり、皆が心をついにして本気になってかからないと、村を立

派にすることはできない。一人や二人が一所懸命やっても、なか

か難しい、ということ。そういう世の中、時代になってきてお

るのです。一番よくわかりますのは、「篤農家」

という言葉です。昭和三十五年頃までは篤農家という人達がお

ったのですが、今では新聞読んでたてなかなかならなくな

りました。篤農家というのは、経営の上手な人のことを指すのではありませ

ん。篤農家というのは自分だけがよくなるのではなく、村に住む人

全体がよくなることを考え、その手助けをし、自分も本

当の経営をする人を篤農家といったのです。今は、自分の家だけ立派な経営

ある村を作る」の中にも、それを裏付ける資料が沢山のせられてあります。

皆さん方はそれでいいかもしれませんが、果して孫の代までお考えになってのことなのでしょう

か。子や孫にどんな形で山古志を残しておいてやるつもりな

のでしょうか。それを考えたいのです。そうでないと、山古志の抱

えている問題を何一つ解決せず子や孫の代に持ち込んでしま

ことになるのです。人口だけをとっても、このままで五年、十年た

れば山古志は足腰たたん状態になってしまふのです。

土地を見つめる 勿論、それでよい訳もありません。皆さん方が本

気になって自分たちの住む山古志を、腰をすえて働く場所をどうやって作

っていくかあります。そのためには、東京ばかりに眼

を向けても本当のことはわからないのです。むしろ地方を

みることの方が、自分たちの土地をみつめることの方が大事

なことです。そのためには、皆さん方の中で、意見をお互

に出しあえる場をつくる、多くの人と交流する、そういう村

を作ったらどうか、と、しきりに考えています。

「オヤジ、違ふよ。あれだけ大きくみかんを育てたら

ら、あれだけで大きな財産になる。ワシヤそれに眼をつけた。だから

百姓する。」 そういうのです。つまり、みかんを台木にして

他の柑橘類に化かす訳です。実のなる木を台木にする

と、翌年からは実がなるのです。接木して幼木を育てる

よりは、早くにそれを息子夫婦で今年には五反ほどやりました。

そういう知恵が授けてくれたのかと、仲間なんです。

郷里の町だけでもみかんが千五百町歩あります。皆が

持ちも下げもできなくなっていたのが、切りかえよう

によって、すっかり変わった経営ができるのです。赤甘夏

農業資本の力強さ

先程、村長に聞いて驚いたので、まだ農協が三つにも四つにもなっている。まだそんなことが片付いていないのか、という気がしました。どんなところで一

に合併して二十年もたてば「二村意識」が生まれてくるもんな

のですが、山古志はまだ、虫亀だ、竹沢だ、種子原だとかやっている。

一つの村の意識のうすい所です。もう、いいかげんに一つの農協に

たらいかがでしょうか。失う物より得る方が多いと思います。

なかなか難しく、と合併問題に手をつけられないと、全国的

な規模です。片付きつつありますから、国の政策や補助なども

小さい方はいきにくくなる。そのため、ますます小さい方は身

な事業ができること、農業知識の勉強ができるということ、これが

何より一番のことです。資金が借りられ事業ができる

ということは、皆さんの世界が大きくなることです。水の中に

いて水の上の世界を知ることができなかつたものが、水の上

の世界を見られるようになることです。田を大きなものにした

方がよいことは誰もが承知していることでは

が、今までは一歩もそこから進まなかつた。それが

実際にできるよくなるのです。もっと進んで、うまい牛乳や、肉を、川魚を、

食べさせるレストランを経営することも夢ではないのです。

問題となるのは、生産意欲の低下ですが、これは佐賀県

神埼郡の農協の場合が参考になると思います。それは、大

きな農協の中に小さな単位で、野菜、果物という具

合に生産組合を作るのです。すると、事業融資を受けられ、意欲も上がり、両得だと教えられました。

それよりもすこいのは、熊本県の小国農協です。組合として

は大きい方ではないのですが、農協の建物の中に森林組合と畜産

組合も一緒に入っている。どういふ具合にやっているのですか、窓口と帳簿は別な

全体がよくなることを考え、その手助けをし、自分も本

当の経営をする人を篤農家といったのです。今は、自分の家だけ立派な経営

をやっている人は多くいるのです。が、周囲の人を手助けはして

くれぬ。せられなくなつた。それで篤農家という人たちが消

えたのです。これは、日本の村を

考えていく上で、実に大きな問題になる点だ

と思うのです。すぐれた経営をする人は

いるのです。と同時に、一方には経営が

行きづまり、他に転向していく人が

いる。将来の見通しがたたく

なり始めた」という話はどこへ

いっても耳にすることなのです。

例えば山古志にしても、ここで

生まれたから一生住んでき

な。不便な所でひどく損をした。勤める

んだらたら小千谷か長岡へ出た方が

いい。百姓するに当たって、こんな

所で田んぼを作っても皆が成功して

る訳でない。第一こんな所では、嫁

のきてがなし、娘を農家の嫁にだす

つもりもない。遅かれ早かれ出てい

かななくてはならない。そう考

え、それが本当の土地をみつめること

の方が、自分たちの土地をみつめる

ことの方が大事なことな

です。そのためには、皆さん方

の中で、意見をお互に出しあ

える場をつくる、多くの人と交流

する、そういう村を作ったら

どうか、と、しきりに考えて

います。勿論、それでよい訳も

ありません。皆さん方が本気

になって自分たちの住む山古志

を、腰をすえて働く場所をどう



宮本常一先生

注意



春の融雪による地すべりにご注意ください。

地すべりは、春の融雪期に一番多く発生し、また前の年に地震や豪雨など異常のあった場合は特に多くなっています。
昨年は六・二六梅雨前線豪雨、その後は日照りが続き、今年は大いに注意しなければなりません。また、例年のない暖冬、雪も早く溶け、地すべりは早い時期に起こりそうです。
地すべりには、何といても早期に発見し、早期に予防することが一番です。地割れ、沈下など、特に昨年被害のあった所や近年造成した所では十分注意してください。田、水路、池では区域ぐるみで水の管理を行ってください。田の水口がつまり、水が畦こえしにくくなったなどのケースも多くあります。

見つけたらすぐに通報
地すべりが起きそうだ、または地すべりが発生したという時は、早く連絡してください。特に人家に關係ある所、道路などの場合、私たちの生活に直接影響しますので、すぐに役場、あるいはお近くの地すべり巡視員に通報くださるようお願いいたします。

役場 建設課 二三三二(代)
地すべり巡視員
星野作一(山中) 二二四九
長島辰太郎(虫亀) 二三五八
金内友治(種学原) 三三七六
五十嵐毅一(梶金) 二五七三

毎月10日は「交通安全家庭の日」



子どもの事故に注意

そろそろ冬が終り、ポカポカ陽気、心もはずんではしゃぎたくなる——特に子供はなおさらです。屋外で遊びまわると子供。でも、交通事故が心配ですね。
子供は一つのことには夢中になると、まわりの物が目に入らなくなりますが、道路で遊んで車に気がつかない、ボールを追って車道にとび出す、道路の反対側で親や友達を見て車道にとび出すなど。また、自動車の動きやこわさをよく理解できません。
子供を交通事故から守るためにドライバーはもちろんですが、特

「十万円出すと、何十倍にもなつて返ってきますよ」——などという甘いささやきと巧妙な手口で、またたく間に全国にまん延したネズミ講。大切な「虎の子」はもとより、友人や親類にも大きな迷惑をかけてしまった、などの悲劇があとを断ちません。
このため先の国会で「無限連鎖講の防止に関する法律」が制定され、五月十一日よりネズミ講は全

5月11日から開設・運営・勧誘は処罰されます

「ネズミ講は全面禁止」
面的に禁止されることになりました。これで、ネズミ講の開設、運営、そして勧誘した者には厳しく処罰されることになりました。
しかし、ネズミ講の手口はさまざま、決して「ネズミ講です」とは言いません。相互助け合いだったり、仲間うち利殖法だと言つて姿を変えるのが常です。くれぐれもご用心を。

国民年金

保険料が四月より三、三〇〇円に

国民年金の定額保険料が、この四月から一か月三、三〇〇円に改められます。
付加保険料はこれまでどおり一か月四〇〇円とすえ置きですから、付加保険料を納めている人は一か月三、七〇〇円となります。
国民年金は五十一年度の法改正とその後の物価スライドにより、夫婦がともに付加保険料に加入して二十五年間納めた場合、年額一〇三〇、二〇〇円(月額八五、八

五〇円)の年金が支給されるようになりました。
現在、こうした年金を支給し、将来にわたって健全な年金財政を維持していくために必要な保険料は一か月六、〇〇〇円といわれていますが、国では、加入者の負担が急を増えることを避けて、昭和五十二年から保険料の段階的引上げを行ってきました。

今年の改正理由は、この段階的な引上げに加え、昨年の年金

額の増額(物価スライド分)に要した財源を補てんしようとするものです。
このようなことから、加入者のみなさんの負担は大きくなりますが、国民年金をよりよい制度にするため、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

また、保険料の納期が昭和五十四年度より五月、七月、十一月、一月に変わります。

老人居室整備資金

昭和五十四年度の老人居室整備資金の貸付けの申込みを、左記のとおり受け付けます。ご希望の方は期限までに申し込んでください。
なお、申込み多数の場合、ご希望に添えかねることもありますので予めご了承ください。
○対象者 満六十歳以上の老人のための居室を作る人で、所得税を納めていない人。
○受付期限 五十四年四月十日
○受付窓口 役場 住民課



八犬伝と

その作者

岩谷小波

(110)

里見八犬伝とその作者
越後の、摺曲山脈のなかに居住している二十村地方の山里の風俗や奇習行事である牛の角突きが、活字(木版)読物となつて広く世に紹介してくれたものは、小説南総里見八犬伝が最初である。そして国の重要無形民俗文化財に指定されたのも、八犬伝に記載されている江戸の昔の習俗などが重要な資料として、あずかつて力があつたものと思われ、郷民の多くも牛の角突きは江戸時代の行事の幾分なりとも知ること得たものと考えられる。だが八犬伝に記載されていると云う程度のことだから、その作者はどんなような人か、あるいは八犬伝とはどんな内容の小説だか、というような事をさせて長い雪ごもりの中で囲炉裡や炬燵をかこんで茶呑みをする時、錦鯉の儲け話のほかに八犬伝の話をするのも面白いのではないかと考えて、八犬伝の話や作者のことを少しひろって載せることにした。
作者は、あとでいろいろな事で紹介するが、滝沢馬琴あるいは曲亭馬琴という筆名で著作した

人で、その曾祖父は滝沢運兵衛興也、祖父は左仲興吉、父は運兵衛興義、兄は大右衛門興旨、馬琴は本名瑠吉興邦といつて祖先から地位の低い武士の子であつた。滝沢家の五男に生れたものだから、家では左七と呼ばれ兄妹は律気で温和だったが、左七と呼ばれた馬琴だけは傲慢で随分母に心配をかせきたという話が伝わっている。そんな気性の子供であつたから、わづかな扶持米をもらつて主家にしぼられる宮仕へをする武士を嫌つて生家を飛出してしまった。それでいて「おれは素町人の出身ではない、やせても枯れても武士の出身だ」という意識をすてなかつた。
生家を飛出した馬琴の瑠吉は職を転々としながら、当時戯作者(江戸の後期頃流行した洒落本、滑稽本、人情本や通俗な小説、そのほかなぐさめものを書く人の事)になろうとして当時戯作者として売出している山東京伝の家に身を寄せていたが、京伝のすすめもあつて萬屋重三郎という書店の手代として住みこんだものである。